

遮熱性トップコート:サーモカットW

高反射率塗料サーモカットWを仕上げに施工することにより、防水性と遮熱性を兼ね備えた仕上げができます。

サーモカットWの特長

- ・赤外線を高反射し、表面温度の上昇を抑えます。
- ・優れた伸び性能を有し、壁面防水化粧材の仕上材として使用できます。
- ・アクリルシリコン樹脂を使用し、耐候性に優れています。

■日射反射率

サーモカットWと汎用塗料との日射反射率の比較です。

サーモカットWは、近赤外線領域における日射反射率が70%以上あり、高反射率塗料であることがわかります。

試験体	日射反射率 (%)			試験面の色
	全波長領域 300~2500nm	可視光領域 300~780nm	近赤外線領域 780~2500nm	
サーモカットW	50.4	34.8	71.2	N6
汎用塗料	25.9	30.3	20.0	N6

4 凍害など自然の害から建物を保護します。

施工されたハーパスの塗膜は温度感応性が低く、広い温度域において塗膜性能を高く保つことができるため、寒い時期から暑い時期まで長期に渡り建物を保護します。また、高透湿性により、特に寒い地方でのALCパネル等の凍結防止に力を発揮します。

■凍結融解試験

コンクリートの角柱体（厚さ75mm×幅75mm×長さ400mm）にハーパスを塗布し、JIS A 1435（建築用外壁材料の凍結融解試験方法）の3.3気中凍結水中融解法に準じて200サイクルまで試験を行いました。質量変化はほとんどなく、外観にも異常は見られませんでした。

下記はJIS A 1435に準じて、北海道立寒地住宅都市研究所で行った試験結果です。

No	試験開始時の質量(g)	各試験サイクルにおける質量変化率(%)										外観観察
		0サイクル	20サイクル	40サイクル	63サイクル	80サイクル	102サイクル	122サイクル	140サイクル	160サイクル	182サイクル	
1	5579	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.2	0.2
2	5798	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1
3	5379	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.2
平均	-	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0.2

5 「責任施工システム」によって施工管理も万全です。

施工は「全国ハーゲン防水美装工業会」によって行われる責任施工体制です。会員は、技術講習を行い、施工技術の向上に努めています。安心してまかせられる施工によって、ハーパスは最終工程を終えるわけです。

6 防水保証書を発行して、その高機能性を保証します。

フジワラ化学㈱と施工代理店および元請会社の連名による防水保証を実施し「ハーパス」の機能・性能の高さを保証しています。